

JP62060521A

Publication Title:

DISPLAY SHELF OF COMMODITY CONTAINED IN REGULAR SHAPE CONTAINER

Abstract:

Abstract not available for JP 62060521

(A)

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

⑪ 公開特許公報 (A) 昭62-60521

⑫ Int.Cl.⁴A 47 F 5/00
7/00

識別記号

府内整理番号

6850-3B
6850-3B

⑬ 公開 昭和62年(1987)3月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 定形容器入り商品のディスプレイ棚

⑮ 特願 昭60-197761

⑯ 出願 昭60(1985)9月9日

⑰ 発明者 篠辺 貞道 栃木県安蘇郡田沼町大字多田1083番地3

⑱ 出願人 株式会社 シノベ製作 栃木県安蘇郡田沼町大字多田1083番地3
所

⑲ 代理人 弁理士 浜田 治雄

明細書

1. 発明の名称

定形容器入り商品のディスプレイ棚

2. 特許請求の範囲

(1) 縦長の基板部とこの基板部上の中央部に突設した仕切板部と前記基板部の一端に突設した前端板部とからなる棚板ユニットを複数備え、これらの棚板ユニットをそれぞれその長手方向側面部において結合部材を介して結合して各棚板ユニットの仕切板部間に商品収納路を形成し、前記棚板ユニットの基板部上の両端にそれぞれ商品滑走用レールを設け、さらにこの商品滑走用レールに沿ってぜんまい式スプリングを商品収納路の前端側に付勢力を有する押圧移送機構を設けることを特徴とする定形容器入り商品のディスプレイ棚。

(2) 特許請求の範囲第1項記載の定形容器入り商品のディスプレイ棚において、押圧移送機構は、棚板ユニットの基板部の長手方向両側面にスライド溝を刻設し、隣接する棚板ユニ

ットの前記スライド溝間に一端部を基板部の前端側に固定すると共に他端部をローラに巻着したぜんまい式スプリングを配設し、前記ローラの支持体の一部を前記スライド溝間に嵌合して摺動自在に構成してなる定形容器入り商品のディスプレイ棚。

(3) 特許請求の範囲第1項記載の定形容器入り商品のディスプレイ棚において、押圧移送機構は、棚板ユニットの基板部上に突設した仕切板部とレールとの相対する側面にそれぞれスライド溝を刻設し、これらのスライド溝間に一端部を基板部の前端側に固定すると共に他端部をローラに巻着したぜんまい式スプリングを配設し、前記ローラの支持体の一部を前記スライド溝間に嵌合して摺動自在に構成してなる定形容器入り商品のディスプレイ棚。

3. 発明の詳細な説明

(発明の属する技術分野)

この発明は、缶、瓶、箱等の定形容器に充填しない包装された商品のディスプレイ棚に係り、

特に多数の同一商品を省スペースに縦列配置し、しかも商品の取出しに際し常に先頭商品を最前部に位置させるための自動押圧移送手段を備えたディスプレイ棚に関する。

(従来の技術)

従来、スーパーマーケット等における商品のディスプレイ方式として、例えば缶や瓶に入った清涼飲料を対象とする場合、多数の商品を縦列配置する棚板を設けているが、この種の棚板では商品の取出しに際し常に先頭商品が最前部に位置させるために前傾するよう構成している。しかしながら、一般に商品を陳列する货架は、水平に組立てられているため、このような货架に前記棚板を配置すれば設置スペースの拡大となるばかりでなく、棚板の加工が複雑になり製造コストも増大する等の難点がある。

従って、この種の商品のディスプレイ棚としては、省スペースの設置が可能であり、しかも簡単な構成で縦列配置した商品の先頭が常に最前部に位置させる機能を有し、低成本で製造

することができるものが望まれている。

(発明の目的)

本発明の目的は、各種の定形容器に入った商品の販売に際し、水平状態に設置して縦列配置した商品の最後部に対し前方へ押付圧する手段を組込んで飲料等の重量物から菓子類等の軽量物に至るまで幅広く使用することができる定形容器入り商品のディスプレイ棚を提供するにある。

(発明の要点)

本発明に係る定形容器入り商品のディスプレイ棚は、縦長の基板部とこの基板部上の中央部に突設した仕切板部と前記基板部の一端に突設した前端板部とからなる棚板ユニットを複数備え、これらの棚板ユニットをそれぞれその長手方向側面において結合部材を介して結合して各棚板ユニットの仕切板部間に商品収納路を形成し、前記棚板ユニットの基板部上の両端にそれぞれ商品滑走用レールを設け、さらにこの商品滑走用レールに沿ってぜんまい式スプリング

を商品収納路の前端側に付勢力を有する押圧移送機構を設けることを特徴とする。

前記のディスプレイ棚において、押圧移送機構は、棚板ユニットの基板部の長手方向両側面にスライド溝を刻設し、隣接する棚板ユニットの前記スライド溝間に一端部を基板部の前端側に固定すると共に他端部をローラに巻着したぜんまい式スプリングを配設し、前記ローラの支持体の一部を前記スライド溝間に嵌合して措動自在に構成することができる。

代案として、押圧移送機構は、棚板ユニットの基板部上に突設した仕切板部とレールとの相対する側面にそれぞれスライド溝を刻設し、これらのスライド溝間に一端部を基板部の前端側に固定すると共に他端部をローラに巻着したぜんまい式スプリングを配設し、前記ローラの支持体の一部を前記スライド溝間に嵌合して措動自在に構成することができる。

(発明の実施例)

次に、本発明に係るディスプレイ棚の実施例

につき添付図面を参照しながら以下詳細に説明する。

第1図および第2図は、本発明ディスプレイ棚の一実施例を示すものである。すなわち、第1図および第2図において、本実施例のディスプレイ棚は、複数の同一構造からなるプラスチック製棚板ユニット10を適宜結合部材12を介して横列に結合して組立てたものである。しかるに、前記棚板ユニット10は、水平な縦長の基板部14と、この基板部14の平面中央部に垂直に起立した仕切板部16と、前記基板部14の一端部に前記仕切板部16と直角に交差して垂直に起立する前端板部18とから構成されている。なお、参照符号20は基板部14の長手方向側面にそれぞれ突設された結合用突起部であり、22は基板部14の長手方向両端部に突設された商品滑走用レールである。このように構成された棚板ユニット10は、基板部14に設けた結合用突起部20に結合部材12を結合させて隣接する棚板ユニット10と所定

間隔離間保持し、それぞれ仕切板部16で仕切られた商品収納路24を形成する。なお、このように形成される商品収納路24の幅は、収納する商品の寸法に合せて予め作成した結合部材12を適宜選択して使用することにより容易に変更することができる。

そこで、本実施例のディスプレイ棚においては、第3図に示すように、基板部14の長手方向両側面にスライド溝26、26を刻設し、隣接する棚板ユニット10の相対するスライド溝26、26間に金属製もしくはプラスチック製のぜんまい式スプリング28を巻着したロール30の支持体32の一部を嵌合してなる押圧移送機構34を設け、これを基板部14の前端板部18側に対し摺動自在に配置する。従って、この場合、前記スプリング28の一端部は、隣接する棚板ユニット10の基板部14間に延在させてその前端側に設けた係止部材36に固定し、ロール30に巻着された他端部が前記商品収納路24の前端側に引張力を生じるよう構成

配置する。

このように前記商品収納路24に押圧移送機構34を設けることにより、この押圧移送機構34のロール30に巻着された他端部を充分後方へ引き戻してその間に多数の商品を縦列に収納配置して最後部の商品Pの後端部に当接させれば、最前部の商品を取出す毎に商品収納路24上の全商品は順次スプリング28の作用下に前方へ自動的に移送することができる（第4図参照）。なお、前記商品収納路24の前端部には、取扱商品に応じてストッパー38を設けたり、また、棚板ユニット10の前端板部18に商品の種類や価格を表示したカード40を取付けができる（第1図参照）。

第5図は、本発明に係るディスプレイ棚に使用する押圧移送機構34の別の実施例を示すものである。すなわち、本実施例の押圧移送機構34は、商品収納路24を形成する隣接する棚板ユニット10の基板部14上において、仕切板部16とレール22との間にそれぞれ前記押

圧移送機構34と同一構成の押圧移送機構34を設けたものである。この場合、スライド溝26は、仕切板部16とレール22の側面にそれぞれ刻設することができる。

〔発明の効果〕

前述した種々の実施例から明らかのように、本発明によれば、多数のユニット構成からなるプラスチック製棚板を結合して商品収納路を形成し、この商品収納路の一部に金属製もしくはプラスチック製のぜんまい式スプリングを備えた押圧移送機構を設けることにより、前記商品収納路に多数の商品を縦列に収納配置した場合、前記スプリングの作用で前記商品を常に前端側へ押圧することができるため、棚板を傾斜させることなくこれを水平に保持した状態で商品の自動移送が達成され、これによりディスプレイ棚の設置に対する省スペース化と共に商品整理に対する省力化が容易に実現でき、その経済的効果は極めて大きい。

以上、本発明の好適な実施例について説明し

たが、本発明の精神を逸脱しない範囲内において種々の設計変更をなし得ることは勿論である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る定形容器入り商品のディスプレイ棚の一実施例を示す斜視図、第2図は第1図に示すディスプレイ棚の平面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線要部断面図、第4図は第3図に示す押圧移送機構の説明図、第5図は本発明に係るディスプレイ棚の別の実施例を示す要部断面図である。

10...	棚板ユニット	12...	結合部材
14...	基板部	16...	仕切板部
18...	前端板部	20...	結合用突起部
22...	レール	24...	商品収納路
26...	スライド溝		
28...	ぜんまい式スプリング		
30...	ローラ	32...	支持体
34...	押圧移送機構	36...	係止部材
38...	ストッパー	40...	カード

FIG. 2

FIG. 1

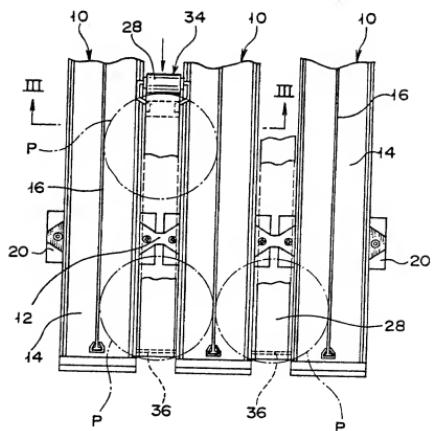
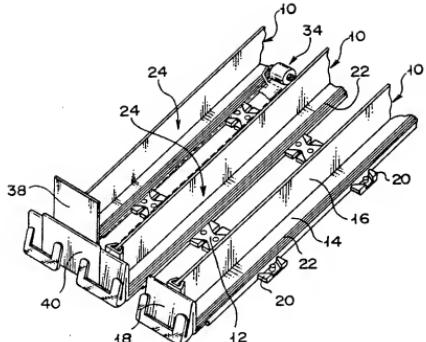


FIG. 3

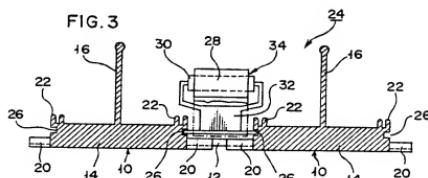


FIG. 4

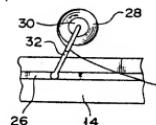


FIG. 5

